



福島南ロータリークラブ

基本方針：ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺宇通吹 6-2 サ・36・メイファイ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878

例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811 (代) fax. 024-523-0375

HPアドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>

■会長：大野順道 ■幹事：金子親房
■会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
■委員：穴戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇



第3回例会

平成25年7月17日(水) サンパレス福島

■会員/69名 ■出席/47名 ■出席率/68.12% ■メイクアップ/22名 ■修正/69名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 決算報告
- 4 感謝状贈呈
- 5 東京麹町RC親睦コソバの案内
- 6 クラブ協議会
- 7 閉会点鐘

会員の広場

大野、金子年度の初めての大きな行事、
渡邊公平ガバナーの訪問とIACの年次大会
ともに会員皆様の協力で成功させましょう。

今日の一面記事 7/18 7メーニュースより

「脱ゆとり教育」が進む中、「ロボット掃除機型」とネーミングされた今年度の新入社員。その心は「一見どれも均一的で区別が付きにくい、部屋の隅々まで効率的に動き回り家事など時間の短縮に役立つ（就職活動期間が2ヶ月短縮されたなかで、効率よく会社訪問をすることが求められた。しかし段差（プレッシャー）に弱い。

◆会長あいさつ◆ 大野 順道 会長



皆さん こんにちは。
新年度になりまして地区の研修セミナーが開催されます。
各セミナーの報告に沿って、本年度活動を行ってみたいと思います。

先日6月22日、富士山の世界文化遺産登録が決定しました。

自然遺産としてではなく、文化遺産として登録されました。山頂部分は浅間神社が持ち主で、日本人の山岳信仰にも深く関係し、非常に長い間日本人の敬愛を受け続けてきたという理由です。

身近なことでは、銭湯の富士山の絵がありました。また千円札の「逆さ富士」にも見られます。

この「逆さ富士」は、山梨県側から本栖湖を撮影した写真がモデルになっています。

江戸時代、駿河の国（静岡県）に住む方が

「裾野より見上げて見たるお富士さん甲斐（山梨県）
で見ると駿河（静岡県）いちばん」と詠まれました。

私は、どちらから見ても素晴らしいと思います。
三保の松原を含めまして世界文化遺産に登録されましたことは喜ばしいことです。

さて、御食事のあとは、クラブ協議会です。
佐久間功奉仕プロジェクト管理委員会委員長をお願い致しまして、各委員会の今年度の活動計画の発表がございまして、各委員会の皆さま、本年度の活動を宜しくお願い申し上げまして会長挨拶と致します。

感謝状の贈呈 鈴木恒昭 会員

杉妻共同テレビ受信組合 組合長 鈴木恒昭 殿
福島南ロータリークラブ活動を通じ杉妻地区の子供達へ浄財を寄付されました。



◆クラブ協議会 活動計画発表 II◆

佐久間 功 奉仕プロジェクト管理委員会委員長 復興支援室長

クラブ奉仕4委員会・財団委員会・奨学会委員会
活動の状況を常に把握し、会員の理解とご協力を賜りながら活動して参ります。



災害復興支援室長

各地区からの窓口としての機能を果たし
子供支援に重点を置いて支援活動を行います。

松崎弘昭 職業奉仕委員会委員長

「自らの職業を通じて社会へ奉仕する」



という基本理念のもとに、会員一人一人がロータリー
の目的を正しく理解し、職業奉仕の実践が出来る
様になることを心がけましょう。

廣澤俊樹 社会奉仕委員会委員長

社会奉仕は「超我の奉仕」を实践し公共へ献身する
最適な機会です。そしてその活動は団体で行う事に
意味が有ります。



佐藤 誠 国際奉仕委員会委員長

「奉仕を通じて平和を」は国際ロータリー永遠のテーマであり、そうしてこそ「ロータリーを实践し、
みんなに豊かな人生を」となるものと理解しましょう。



富田健三郎 新世代委員会委員長

「未来の子供達の輝く笑顔のために！！」



特に委員会のメンバーにも恵まれ一段と心強く感じ
ているところで御座います。
福島復興は間違いなく将来の担い手である新世代
にかかっていると思います。

穴戸英男 ロータリー財団委員会委員長

「世界でよいことをしよう」という目的をもって、



ロータリー財団が大きく変わろうとしています。
今後、人道的支援が奉仕の支流になってきます。
新しい補助金モデル「未来の夢」が導入されました。

伊藤統一 米山記念奨学会委員会委員長

全国のロータリアンからの寄付金を財源として、
留学生を応援するための援助する国内最大の奨学団
体です。



当クラブで受け入れ、会員との交流や例会・夜間
例会に参加して頂き国際理解と親善・国際平和構築
に寄与して頂きたいとおもいます。

今まで発表されました各委員会の活動計画は年次計
画書に記載されます。

2013-14年度プログラム

実施予定表を参照願います。

クラブ行事・分区分行事・地区行事・国際行事
姉妹クラブ・友好クラブ等々

一編集後記一

前回会報担当者佐藤氏が皆さまにカメラを向けた際は、
ぜひレンズをのぞき込んでくださる呼びかけ
実践されました。今後共ご協力よろしく（穴戸）
